

設立 平成24年 5月15日
開塾 平成24年 9月 8日
発行 平成26年10月11日
(24号)

[事務局] 〒648-0094
橋本市三石台4-1-15
TEL 0736-38-3669
FAX 0736-38-3680
文責 事務長 宮本眞弓



祝 第三期 人間学塾・中之島 入塾式

平成26年9月13日 大阪大学中之島センター
塾生59名 世話人11名 総員70名

一、塾是の由来



第三期入塾式は九月十三日、爽やかな秋空の下、挙行されました。正面には日の丸・塾旗、そして横断幕。「人間学塾・中之島 第三期入塾式」の文字は寺田一清先生の書になる力

でいきたいと念じています。
当塾の塾是は、吉田松陰先生の高い志を受け継ぎたいと、一部のお言葉を拝借しました。『士規七則』に、「志を立ててもつて万事の源と為し、交を扼びてもつて仁義の行を輔け、書を読みもつて聖賢の訓を稽う」とあります。順序は異なりますが、塾はの「先哲に学ぶ」「徳行に努める」「心願もつて万事の源となす」に重なります。

この一年、聖賢の書を読み、師友と交流し、立志・実践の道を進み、世界の手本になろうではありませんか。

○ 年間プログラム（講師紹介）
私達の志を補翼して下さる先生方は、改めて紹介するまでもありませんが以下の通りです。

- ◇ 森信三先生に学ぶ・寺田一清先生（三月）
- ◇ 志の貫徹・上甲晃先生（十二月）、鍵山秀三郎先生（一月）
- ◇ 日本人の根底を創る神儒仏・横田南嶺先生（二月）、寺岡賢先生（三月）、瀬戸謙介先生（五月）。
- ◇ 心を揺るがす日本人・白駒妃登美先生（十月）、水谷謹人先生（十一月）
- ◇ 青少年への德育・森敬恵先生（十一月）、野口芳宏先生（四月）
- ◇ 笑いと健康・昇幹夫先生（六月）、森美智代先生（七月）
- ◇ いざれも訊き漏らせない魅力溢れる方々ばかりです。全てを我が師として、学びを深めて参りましょう。
- 「人間学」とは＝人間の生き方の「智慧」
「人間学」の解釈は、入塾式でお伝えしました。森信三先生は『人間の生き方を中心とした「智慧』に対して、「新しい人間学」と呼ぼう』『「智慧」は人間が生きている限り、終生これを求めるべきであります。生命に関する智慧はもうこれで分かつたといってあぐらをかきますと、逆に急転直下、たちまち奈落の底へ墜落するという性質のものであります』と語つておられます。
- 悟りとはそのようなもので、一旦、会得したと思つた瞬間から慢心が生まれ、足を踏み外すものです。従つて「悟後の修養」が大切と言われるゆえんです。生涯の志を定め一心不乱に歩む一方で、先達の教えに照らして自らを省みることは不可欠です。
- 一年を通じて正しき道を踏み行えば、必ずや信念を貫く力を得られます。共に手を携えて精進して参りましょう。

世話人代表 清水正博

晴れやかに、第三期塾生入場





〔旧萱野家〕

旧萱野家は、江戸時代中期に高野山真藏院の里坊（不動院）として建立され、明治時代まで続いた由緒ある建物です。民家（萱野家）として現存しておりましたが、平成21年2月、町が文化財の保存・保護のため譲り受けました。

里坊とは山寺の僧などが人里に構える住まいのことで、避寒の所とされており、県内では数少ない、現存の「高野山里坊」である歴史的建造物です（門、主屋、土蔵の3棟は町指定文化財）。

明治38年、養父中川萬次郎の狂刃により六人斬り事件に巻き込まれ、17歳の身で両腕を切り落とされてしまします。筆を口にくわえ書画の世界へと入られ、苦難の道を乗り越えて尼僧を志されました。高野山での出家を目指してこの地へお越しになりましたが、当時の高野山へ入ることがなかなか許されず、旧不動院・萱野正之助、タツ夫婦が菩提親となり高野山天徳金山大僧正を師として得度しました。その縁でしばしば九度山萱野邸にて過ごされ、多くの書画をこの館に書き残しています。

〔宿泊研修帰りに寄つてみませんか!!〕

《お薦め書籍》

『女子の武士道』

石川真理子 著



致知出版
価格 一五二二円（税込）
ISBN-10: 4800091048X

著者は明治大正昭和の時代を厳格な武家の娘としての躾を受け、たゞましく生きた祖母と12歳までともに暮らし、後年祖母の生き方やその言葉を思い出すつけ、戦後日本人の女性が忘れてしまつた「人としての心得」「女性としてのあり方」が散りばめられていることを知つた。それこそが女子の武士道だつたと気づいた。本書は53の祖母の言葉を挙げながら、女性とは、妻とは、夫婦とはどうあるべきかを語つていく。

「夫を穢すこととはおのれを穢すことですよ」「子供には目に見えぬものを与えなされ」。「女子の」とタイトルにあるが、凛とした女性がいてこそ立派な男、家庭、そして社会があることを納得するだろう。さらに言えば、女性から見て男子はこうあるべきだと暗に諭される、男子にもまた必読の一冊である。

《先哲に学ぶ》

孟子

志が氣力を生む

志は、氣の帥なり

(孟子・公孫丑上)

志というものは、氣を率いていくものである。志を立てれば氣がその後をついて行く、ということ

ことで、志の重要性を説いた言葉である。

(『四書五經一日一言』より)

《十一月 人間学塾・中之島》

■ 基本カリキュラム

● 秋の宿泊研修

・ 日時 11月8～9日（土・日）

午後1時開講・受付午後0時

・ 会場 高野山宿坊「清浄心院」

和歌山県伊都郡高野町

・ 講師 第一講 森 敏恵様

「生きる原点を求めて」

第二講 水谷謹人様

「強運をつかむ10の決断」

わが庭園??（高野山内）で、多彩なカリキュラムをご用意しております。

基本カリキュラム終了後、自由参加で九度山の旧萱野邸・大石順教尼記念館へも案内いたします。高野山より帰路、南海高野線で、九度山駅下車徒步約8分です。来年度からはNHK大河ドラマに決定した三谷幸喜作「真田丸」（放映予定平成28年）の一部舞台となります。

《中途入塾歓迎します。!!》

学塾・中之島では、中途入塾も大歓迎いたしております。昨年第一期に於いては、みなさまからの紹介により、二名の方が入塾されました。

第三期も中途入塾を、大歓迎いたします。どうぞ、知人・友人の方を勧誘ください。お待ちしております。

また、聴講希望の方も募集いたしております。魅

力ある講話にご関心の方が居られましたら、事務局まで申し込み頂き、お誘いの上拝聴ください。

但し、期二回までとしています。



日曜日は風も穏やかで、雨も降らず、参加16名で36個のゴミ袋の収集が出来ました。

夏の間に茂った草の中に踏み込むと大量のペットボトル、発泡ウレタンのくず等々があり、沢山のゴミを集めました。



来月は11月2日の第一日曜日に実施致しますので、ご都合よろしく参加の程、よろしくお願い致します。

▼ 10月5日の淀川掃除に学ぶ会の参加者は、最近では珍しく16名の少人数となりました。

□ その理由は二あります。

その第一は、台風18号襲来の影響で風雨が強くなるという心配がありました。掃除は雨天決行なのですが、台風では大変だと心配された方も居られると思います。第二には、前日4日の土曜日から、鍵山秀三郎相談役が、第5回関西ブロック大会の為に来阪されました。近鉄八尾駅前のプリズムホールで講話をされ、5日の日曜日は、八尾小学校の掃除の会に参加されました。

大勢の方々が鍵山先生と御一緒に関西医プロック大会主催のトイレ掃除に御参加されたと思います。

日曜日は風も穏やかで、雨も降らず、参加16名で36個のゴミ袋の収集が出来ました。

夏の間に茂った草の中に踏み込むと大量のペットボトル、発泡ウレタンのくず等々があり、沢山のゴミを集めました。

来月は11月2日の第一日曜日に実施致しますので、ご都合よろしく参加の程、よろしくお願い致します。

《淀川掃除に学ぶ会》短信

世話人 志村隆夫

問合せ ○九〇一一八九四一一七六五（小西）
○九〇一七五五五一八七七七（志村）